

北九州市立医療センター

研修医 吉藤 正泰 2014年10月

初めまして、北九州市立医療センター・初期臨床研修医2年目の吉藤 正泰と申します。10月に出水市における地域医療について、1ヶ月間にわたり研修させていただきました。

山口出身で、鹿児島に数年住んでいましたが、出水市に来るのは初めてで非常に楽しみでした。

研修内容としては高尾野診療所、野田診療所にて1週間ずつ、2週間を出水総合医療センターの総合内科にお世話になり、そのほか上場診療所や市保健センターでも研修させていただきました。

高尾野診療所では西元寺先生、長谷川先生の下、外来に来られる患者さんの診察をさせていただきました。外来に加え熱傷や咬傷など外傷患者さんの創傷処置を経験でき、大変勉強になりました。

野田診療所では内村先生にお世話になり、各種超音波検査や内視鏡検査の手法をより実践的に学ばせていただきました。また、精力的に野田から名護までの広範囲にわたる訪問診療をなされており、通院が難しい住民の方々へ如何に医療を提供すべきかを実感しました。

院内研修では、総合内科にて吉井先生のご指導の下、外来や人間ドックの患者さんの問診、診察を担当させていただきました。症状や検査結果から鑑別疾患を列挙し、確実な診断に繋げるためにどのような診察をすれば良いのか、臨地的かつ教育的なご指導をいただき、貴重な経験ができたと思います。また救急外来を受診される患者さんへの初期対応もさせていただき、特に脳血管障害の患者さんに対する診察や検査、治療を迅速かつ適切にできるかについて教わる事ができました。

また講習会に参加させていただいた際、出水地域における医療の質をより高め、充実した医療を提供する為に、他病院や開業医の先生方、介護施設等のスタッフの方々と議論を交わされており、地域での円滑な医療連携を垣間見ることができました。

1ヶ月間、先生方や看護科を始めとするスタッフの方々には親切なご指導をいただき、心よりお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。